

【直轄国道初】西日でも文字がくっきり ～ スリット加工による逆光対策標識 ～

【事業、施策のねらい】:朝夕の逆光により見えにくくなる案内標識の視認性向上

【事業、施策の結果】:利用者から好意的な声が続々届きました

【事業・施策のあらまし】

①施策分野:交通安全

②実施箇所:山形県南陽市(国道113号)

③実施期間:平成17年11月～12月

④事業概要:案内標識へのスリット加工

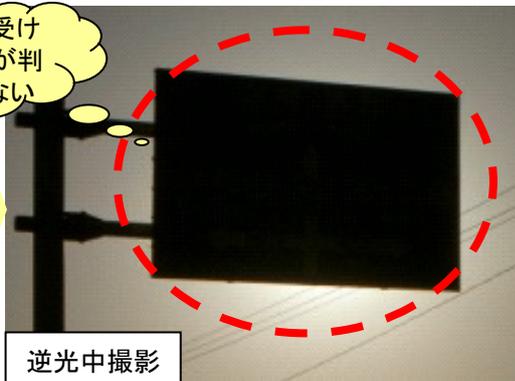
東西を横断する路線では、ドライバーにとって太陽光が逆光となり、
標識板見えにくくなる場合が発生

通常時の標識



西日を受け
て文字が判
読できない

逆光時は



案内標識にスリットをいれ、光を透過させる標識を
設置し、標識の視界を確保

光を透過させ
ることで文字が
浮かび上がる



スリット加工後

その他...

- 設置作業は従来と変わらず。
- 風が抜けるので冬期間でも凍結しない。

利用者からの反応

<利用者の声>

- 逆光でも文字が見やすく、高齢者にも優しいですね。
- 今後も必要な箇所に広がって欲しい。
- 穴から夕日が射していてなぜ文字が見えるのかと思った。